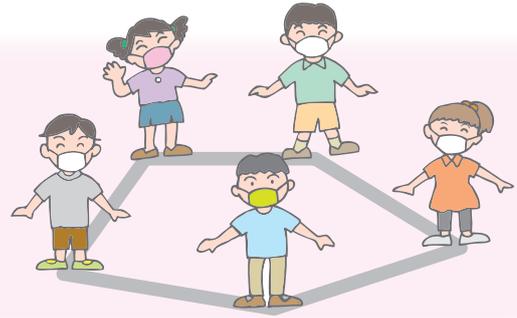




いわけですから、これには正解は無いのです。そうすると、我々に出来ることは、ゆっくり一歩を踏み出してみ、良さそうであれば、もう一歩踏みだして、一步一步前に進んでいくしかないのです。ここでもっとも大事なことは、踏み出す過程で、万が一患者が発生したり、クラスターが発生したら、それを即座に探知して感染の拡大を防ぐことのできるサーベイランスと対応体制、そして適切な医療が提供できるような医療体制を整備しておくことです。しかしながら、万が一大きなイベントで感染クラスターが発生して、一時に多数の患者さんが発生すれば、これまでの医療費削減政策によって縮小された医療体制は簡単に破綻してしまうでしょう。このような事態は避けなければなりません。地域の医療体制が破綻すれば、COVID-19以外の患者さんも医療を受けられなくなるのです。



宣言が解除されたら徐々に社会活動を再開していくのですが、残念ながら、一朝一夕には完全に以前と同様にはならないということです。少なくとも自分が感染しないように、誰かに感染させないように、そしていきなりたくさんの患者が発生するような事態を引き起こさないように、基本的な感染症対策を実行していきましょう。

(臨床研究部長 谷口 清州)

新入staff

紹介コーナー

1病棟



毎日笑顔で
思いやりをもった看護ができるように
頑張っていきます
（堀口／林／伊藤）！

北3病棟



北3病棟の
井坂、道前、涌井です。
北3病棟は、内科（呼吸器・糖尿病）の病棟です。
日々たくさんのことを先輩方に指導していただき、
今では笑顔で元気に
声かけができるようになってきました。
「みんなで仲良く」を大切に、
患者さま、ご家族のみなさまに寄り添える
看護を目指していければと思っています。
よろしくお願ひいたします。

5病棟の新人看護師の川北、川西、
清水、保育士の森田です。
患者さまとの日々の関わりを
大切にし、あたたかい看護、支援が
できるように頑張ります！
あいさつや笑顔を忘れず
何事にも意欲的に取り組みます！

5病棟・
療育指導室

